

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

2025年度通常総会 補足資料

■ 通常総会タイムテーブル(あくまでも目安です。状況により変更となります)

時刻	時間	内容
13:45～14:00	15分	定足数確認、開会、議長・議事録署名人選出、趣旨説明、役員紹介
14:00～14:40	40分	第一号議案 2023年度事業報告並びに決算及び監査報告について
14:40～15:25	45分	第二号議案 2024年度事業計画並びに予算について
15:25～15:35	10分	第三号議案 2024年度役員の選任について
15:35～15:45	10分	第四号議案 定款の一部変更について
15:45～16:00	15分	その他報告、質疑応答・意見交換、閉会

■ 「総会議事資料に基づいた意見交換会」ご報告(Q & A集)

オンライン2回(5月9日、18日)で開催した「総会議事資料に基づいた意見交換会」での質疑応答を、以下の通りまとめました。

1. 第一号議案について

【質問1】 事業報告3 1)「社会からの多様な要請に対する支援の充実」においてファシリテーター以外の相談を受ける場はあるのか？

【回答】 ファシリテーター派遣以外の相談を受ける場合があります。

例を挙げますと、災害復興委員会では、災害復興支援現場で活動するボランティアさんの効果的な活動のための情報共有会議の支援を行っており、FAJ会員による板書ボランティアを派遣することもあります。

2. 第二号議案について

【質問1】 事業計画6 1)組織のあり方の検討にて「FAJのガバナンス、会員制度のあり方等ゼロベースで考えていきます」とあるが、その背景や理由について詳細が知りたい。

【回答】 一昨年度より、理事のなり手の不足状況を踏まえ、選任制度の見直しを検討してきました。しかし、現状のFAJの置かれた状況などを鑑みるに、単純に理事の選任方法を見直すことだけで解決できるものではなく、ガバナンス体制や会員制度など組織全般を見直すタイミングに来ているのではないかという考えに至りました。

【質問2】 会員数は25年度予算に貢献するためには来年1月までに入らないといけないが、現段階で増える傾向がないと予算立てが失敗する可能性があることにならないか。説明が欲しい。

【回答】 5月時点の会員数は1000人を超えております。昨年10月のボトムから回復しており、予算達成は実現可能であると考えています。ただし、会員減少傾向にあることは変わりなく、適正化での提言にもあるように会員増加策の他に、会費の見直しなどの課題検討をしていきます。

3. 第三号議案について

【質問1】 第三号議案の理事候補9名。現在は10名である。過去はさらに多い時もあった。課題が多い中で理事を減らす理由は何か。

【回答】 ご質問の通り、課題が多いことは認識しているところです。
定款第13条第1項第1号に、理事の人数は3人以上15人以下と規定されているところ、2025年度につきましては、理事候補を前年度と同数の10名とし、理事就任の依頼をいたしました。が、ご事情があり理事就任をご辞退された方がおられたため、理事の人数が減る見込みとなっております。
理事が9名になった場合にも、組織内外の課題解決に向けて、理事一同尽力いたしますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

【質問2】 ピーク時2000人（正しくは2013年度1,690人）の会員数で現在1000人であるが理事数は適正であるか。

【回答】 会員数ピーク時の活動から、ファシリテーションサポート委員会の実施内容の変化、災害復興の委員会化、協働促進プログラム委員会の設置、その他、組織として対応すべき活動が多様になったこと、並びに前述のとおり課題が多い中で、現在の人数は適正もしくは少ない人数と考えており、単純に会員数で設定するものではないと考えます。

4. 参考資料3について

【質問1-1】 予算適正化の提言にて、26年度以降のサミット計画について開催するのかわからないのか、読めないがどちらなのか。

【質問1-2】 予算適正化の中の提言で7番が気になっている。

サミットについて、全国イベントを廃止すると、協会の組織としての活力が力が弱くなると思っている。

【回答】 （質問1-1、1-2とも）予算適正化の提言についての理事会の決議にも書いておりますが、事業計画のとおり、目的に沿ったうえで、事業における収支予算を適正化するように方針変更としておりますので、実行、開催するための方策を考えてきます。

【質問2】 参考資料31ページの予算費目の付け替えを柔軟にするとは、どこが変わったのか。32ページの柔軟になるというのは何のことか。

【回答】 予算費目付け替えはできないものではなく、このようなルールのもと実施が可能であるということを明示しています。
回答の仕方がわかりづらく申し訳ありません。

5. その他

【間違いの指摘】 前年度の決算15ページとグラフの数字29ページに差がある。

【回答】 ご指摘の通り、決算およびグラフの修正を行いました。

6. ご意見

意見交換会の中で、以下のようなご意見をいただきましたので、ご紹介いたします。

- ・ 参考資料3(p29-30)。24年度の実績との比較、30ページの比較。実績と予算で見比べていた。24年度予算、実績の順だとわかりやすいと感じた。→24年度実績と実勢対比の欄を追加しました。
- ・ 参考資料3(p29-30)。24年度の実績との比較、30ページの比較。報告の中で各拠点が事業の枠を超えて連携しているのはとても良い。事業計画の前文の第三段落がとても共感でき

た。

- ・ 事業についても予算についても前年度と今年度の比較で記述されていない構成のため、何が継続案件で何が新規案件、改善案件なのかを把握しにくいのが残念です。
- ・ “前年予算” “実績” “本年度予算” の部分を抜き出して、ちょっと大きめに書いて下さると比較して考え易いかなと思いました。
- ・ お金でしか今は方針がないように見えた。NPOとして外に対してどうやるか。ターゲットや目的が見えにくいと思っている。予算適正化の先の議論を明確に出してほしい。
- ・ 予算適正化への感想として進め方などへの納得感はあまりない。来年度の予算編成は改めて考えてほしい。理事会の方向性を示した中での予算立てが必要だと思う。
- ・ 予算の適正化というところに重点が置かれすぎていて、FAJという団体は何を目指して活動するのかというのが見えにくいと感じています。
- ・ 報告についても計画についてもDoの記述のみなので、どんな背景・理由、どんな課題感・問題意識があってその活動がなされたのか、計画されたのか？がわかりません。意見交換会の場で一つは質問させていただきましたが、本当は書かれている項目一つ一つについてWHY?を聞きたいと思いました。
- ・ 会員の人数が1000人規模で50人増。50人減っているならば100人増。各拠点の人は切実に感じているはず。昨年の予算適正化チームの取り組みはよかった。同様に、会員増チームをつくって検討してもいいのではないかな。一つに集まって話すと良い結果になると思う。
- ・ FAJ全体で会員増に向けた取り組みをするプロジェクトが立ち上がり、具体的に動くことを期待しています
- ・ 総会資料に再任理事の記載はあるが退任理事はないので入れたほうがいいのではないかな。
- ・ 事務局などの最低の仕事はどのくらいか。会員が望んでいる運営にどのくらい運営費がかけられるかを検討してほしい。
- ・ 事業報告「活動のあり方を見つめ直す1年でした」⇒事業計画「FAJのあり方を共に考えていこう」の変化が素敵です。言葉だけではなく、ぜひ皆で考えて活動を盛り上げるFAJでありたいと思いました。

以 上